

ふれあいランド岩手発 ウイング

No.36
平成27年3月発行
いわて福祉だより
パートナー別添付録
(通巻582号)

祝・利用者四〇〇万人を達成!!

平成六年十二月九日（障害者の日）に開館して以来、多くの皆様にご利用いただき、お陰様で、平成二十六年四月二十二日（火）に利用者数四〇〇万人を達成し、記念式典を行いました。

日頃ご利用いただいている皆様には、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

利用者四〇〇万人達成を記念して、四〇〇万人目の利用者となったヒソプ工房の三田郁恵さんに指定管理者である岩手県社会福祉協議会桑島博会長から認定証が交付され、施設設置者を代表して岩手県保

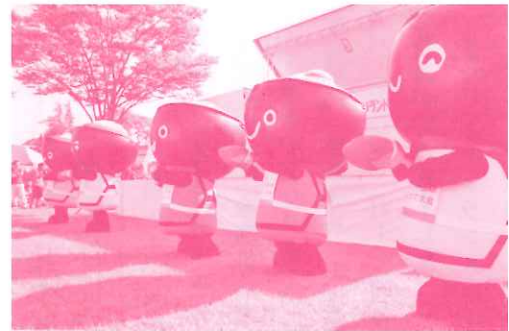


健福祉部根子忠美部長から記念品が贈呈されました。

今後も県民の皆様が親しまれ、楽しく安全にご利用いただけるよう施設運営に努めて参りますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ふれあいランド岩手二十周年 感謝祭を開催☆

九月の恒例行事となっている当館最大イベント「ふれあいランド祭」は、開館二十周年を記念して「ふれあいランド岩手二十周年感謝祭」として、九月七日（日）に開催しました。



イベント広場内に設置された特設ステージでのステージイベントでは、NPO法人のびっこ寮育センターによる「のびっこ太鼓演奏」、知的障害者更生施設わらび学園による「虎舞」など障がい者の方々による発表が会場を大いに盛り上げたほか、大槌町出身の歌手白澤みさきさんによるライブでは、子どもから大人まで大勢の方々がその美しい歌声に聴き入り、多彩なステージイベントを締めくくりました。

その他、屋内では希望郷いわて国体・希望郷いわて大会PRパネル展示コーナーやあそびにコンビニコーナー、射的コーナーなどが行われました。また、屋外では福祉作業所や地域農家による即売コーナーや屋台、フリーマーケット等の出店があり、多くの方々が食べ物や授産製品を買い求められたほか、子どもに人気のイワナのつかみ取りやスーパースクールでは、熱中する子どもたちの姿が見られました。

当日は、近隣の中学校や高校をはじめ、専門学校、大学、当館利用団体など、ご協力いただいたボランティアは二〇〇名以上に及び、イベントの参加者数は過去最高の延べ二〇、七二二名となりました。この場をお借りして、改めてご協力いただいた皆様、ご来館いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

施設、設備の二部改修工事を実施

利用者の皆様に、より安全かつ快適に施設をご利用いただくため、施設、設備の一部改修工事を実施いたしました。

人にやさしい駐車場につきましては、駐車場から館内に入館するまでの通路に屋根を設置し、悪天候でも車いすの操作等に支障を来さないよう配慮いたしました。また、建物の外壁や支柱の劣化している部分を補修いたしました。スポーツ施設につきましては、体育館内の照明器具をLED照明に交換し、快適な環境で運動していただけるようにいたしました。また、陸上競技場のレーン補修工事を三月二十日（金）まで実施しております。

今後も利用者の皆様に安全かつ快適に利用していただける環境づくりに努めて参ります。

開館二十周年記念式典を開催

十二月二十日（土）、「開館二十周年記念式典」を行いました。

式典には、関係者の方々約一五〇名が出席されました。冒頭では、指定管理者である岩手県社会福祉協議会桑島博会長が「一九九四年の開館以来、支えてくれた皆さんに感謝する。今後も障がい者、高齢者を含めた全県民が、スポーツ、文化活動を通じて健やかに生活できる地域社会を実現していく」と式辞を述べたほか、岩手県知事からのメッセージを岩手県保健福祉部根子忠美部長が代読しました。

また、十年以上にわたりボランティアや福祉活動で当館の運営に貢献いただいた個人及び団体へ感謝状の贈呈を行いました。その後、盛岡第四高等学校音楽部による記念公演が行われ、美しいハーモニーで式典に花を添えていただきました。式典終了後は、ボランティアアサークルとまと、ふれあいランド岩手友の会の協力により、来館者の方々へお餅を振る舞ったほか、お子様にお菓子の配布を行いました。



感謝状を贈呈した個人及び団体は、以下のとおり。（敬称略）
 〈個人〉川口君子、藤井明子、高橋千代子、松本笑子
 〈団体〉岩手看護専門学校、岩手県立不来方高等学校、岩手県立盛岡第四高等学校

文化サークルの祭典「ふれあい文化交流会」開催

十二月二十日（土）、当館の文化施設をご利用いただいている文化サークルの発表会である「ふれあい文化交流会」を開催いたしました。

「ふれあい文化ステージ」では、ふれあいホールを会場に、カラオケ、大正琴、和音、コーラス、ジャズバンドなど、計十一団体によるバラエティに富んだ発表が行われました。

また、エントランスホールでは、生け花や手芸、陶芸、工芸、絵画などの作品を展示する「いきいき活動展」が行われ、たくさんの方々の目を楽しませました。その他、茶道サークル「森雲（なつめかい）」の協力による茶道体験が行われました。



子ども広場では、おはなしポケットの会による「紙芝居読み聞かせコーナー」を行い、熱心に聴き入る子どもたちの姿が見られました。



研修室では「囲碁交流大会」が行われ、二十五名の参加者が有段者の部、一級以下の部に分かれ、予選リーグ、決勝トーナメントと数々の熱戦を繰り広げました。

指定管理期間が五年間に変更となります

平成十八年度の指定管理者制度導入以降、岩手県社会福祉協議会が岩手県からの指定を受け、三年間の指定管理期間を三期行って参りました。

平成二十七年三月三十一日（火）をもって指定期間が満了することに伴い、昨年、岩手県において指定管理者の公募を行い、選定の手続きが進められてきました。

当協議会としては、福祉交流施設である当館を管理運営していくことが、当協議会の基本理念に合致するという観点から、平成二十七年でも再指定を受けるべく応募したところ、五年間の再指定を受けることができました。

四月から五年間の指定管理期間のスタートを切りますが、当館の設置目的である県民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーション理念の普及高揚に努め、利用者の皆様がより安全かつ安心して利用できる管理運営に取り組んで参りますので、変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

ふれあいランド岩手 開館以来の利用状況

平成6年12月9日～
平成27年2月末

延利用者数

……4,219,323人

内 訳

文化施設

会議室・研修室・音楽室等

1,165,163人

スポーツ施設

プール・トレーニング室等

3,054,160人

☆広報紙「ウイング」は、ふれあいランド岩手を上空から見た形と施設の基本理念であるノーマライゼーション（障がいや年齢などの垣根を飛び越え、だれもが利用できる施設であること）に由来しています。